

船橋市一般廃棄物処理基本計画

～ 循環型社会実現に向けたステップアップ ～

行 動 計 画



(令和4年2月末 進捗状況)

1. 広報・啓発計画

1-1. 循環型社会実現の基礎となる情報提供

資源循環課

(1) ごみ減量・資源化の情報提供の充実
 ごみに関する情報を積極的に発信し、市民、事業者による主体的なごみの減量及び資源化を促進します。

「リサちゃんだより+（プラス）」作成		
計画	実績	担当員所見
・リサちゃんだより+ 年3回 発行 2,300部 × 3回 6,900部	(3年度末見込み) ・リサちゃんだより+ 7月号 2,300部 10月号 2,300部 1月号 2,300部	リサちゃんだより+ 各号1面記事 7月号「知っていますか？ペットボトルリサイクル」 10月号「10月は食品ロス削減月間です！」 1月号「使い捨てプラスチックを減らしましょう！」 市役所及び各公民館・連絡所・出張所・図書館で配布した。

1-2. 地域に根ざした広報・啓発活動の推進

クリーン推進課

(1) スマートフォン等を活用したごみ分別の普及啓発
 スマートフォン用のごみ分別アプリケーションを導入し、市民のごみ分別に対する意識を高め、ごみの減量及び資源化を促進します。

スマートフォン等を活用したごみ分別の普及啓発		
計画	実績	担当員所見
新規ダウンロード数 6,000件	(4年2月末実績) 新規ダウンロード数 5,744件 (3年度末見込み) 新規ダウンロード数 6,200件	ごみや環境に関する情報等を発信した。 新規ダウンロード数は、目標を達成できる見込みだが、今後も様々な媒体を使用して新規ダウンロード数の増加に努める。

1-3. 環境教育の推進

資源循環課

(1) 環境教育の促進

小学生等に興味を持ってもらえる様々な方法を用い、子ども向けの普及啓発を行います。

子どもホームページによる啓発		
計画	実績	担当員所見
アクセス数 4,000 件	(4年2月末実績) 7,557 件 (3年度末見込み) 8,244 件	昨年度 3,658 件だった閲覧数が約 2.3 倍に伸びた。 特に食品ロス及び有価物に関するページの閲覧数が伸びており、学習のニーズが高まってきていることがうかがえる。今後も、子どもの学習の手助けとなるよう、分かりやすいページ作りに取り組むとともに、動画など新しい見せ方も工夫していきたい。
小中学生への水切りの啓発・雑がみリサイクルの周知		
計画	実績	担当員所見
授業補助 5 校	(4年2月末実績) 8 校 (3年度末見込み) 8 校 葛飾・行田西・峰台・七林 宮本・市場・芝山西・坪井	新型コロナウイルス感染症の影響により、校外学習として清掃工場見学が実施できない学校が多く、令和2年度より5校増加となった。
夏休み親子見学会		
計画	実績	担当員所見
親子見学会参加予定人数 午前・午後 各5組	(3年度末見込み) 親子見学会参加人数 午前の部－5 世帯 19 名 午後の部－6 世帯 19 名 2部合計－11 世帯 38 名	令和3年8月7日(土)に南部清掃工場にて開催した。64 世帯から申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染症の影響のため各部 20 名程度での実施となり、抽選で 11 世帯 38 名が参加した。アンケート結果からも内容は好評であった。

1-4. 継続事業

クリーン推進課

廃棄物指導課

資源循環課

ごみ減量啓発バスの運行 (クリーン推進課)		
計画	実績	担当員所見
団体数 40 団体	(4年2月末実績) 0 団体 (3年度末見込み) 0 団体	廃棄物関連の現場見学を通して、ごみ減量意識の向上を図ることを目的に実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

ごみ出しカレンダーの配布 リサちゃんだよりの発行（クリーン推進課）		
計画	実績	担当員所見
作成部数 290,000 部	（3 年度末見込み） 290,000 部	家庭ごみの出し方・リサちゃんだよりの構成を見直し、より多くの市民にごみの排出方法やごみに関する情報を周知できるパンフレットを発行する。ごみの分別や出し方について、より見やすくなるよう紙面の構成等を見直したほか、リサちゃんだよりの各記事には SDGs マークを掲載した。
ホームページをはじめとした多様な情報媒体の充実（クリーン推進課）		
計画	実績	担当員所見
掲示場所等 ・ JR 船橋駅南口 4 標語（常時表示） ・ 市庁舎 2 標語	（4 年 2 月末実績） ・ JR 船橋駅南口 4 標語（常時表示） ・ 市庁舎 2 標語 （3 年度末見込み） ・ JR 船橋駅南口 4 標語（常時表示） ・ 市庁舎 2 標語	市ホームページ・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」・ふなばし情報メール等を活用し、ごみの減量や路上喫煙及びポイ捨て防止などの情報を発信して啓発に努めた。 新型コロナウイルス感染症や降雪の影響による家庭ごみの出し方・収集に関する情報や環境に関する様々な情報を発信した。
廃棄物減量等推進員（530 推進員）の活用（クリーン推進課）		
計画	実績	担当員所見
活動予定 ・ 第 14 期 530 推進員を委嘱する ・ 各地区において研修会等を実施する	（4 年 2 月末実績） 地区別推進員研修会 1 回 （3 年度末見込み） 地区別推進員研修会 1 回	令和 3 年 7 月 10 日に第 14 期船橋市廃棄物減量等推進員委嘱状交付式を開催し、当日、ごみの減量と資源化に関する講習会・530 推進員の活動に係る研修会を開催した。 530 推進員として、579 人の方々を委嘱している。（令和 4 年 2 月末現在） 地区別推進員研修会は、地区担当者（環境指導員）によるアドバイスや地区ごとの研修会などを通じて、530 推進員が活動しやすい環境づくりを目的に実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、要望のあった 1 地区のみ開催した。

不法投棄防止の推進（クリーン推進課）（廃棄物指導課）		
計画	実績	担当員所見
不法投棄防止パトロール （クリーン推進課） 夜間 1回 昼間 80回	（4年2月末実績） 夜間 0回実施 昼間 70回実施 （3年度末見込み） 夜間 0回実施 昼間 80回実施	各地区において不法投棄が多い場所を中心に環境指導員がパトロールを行い、廃棄物を捨てられない環境づくりに努めた。 例年、豊富地区連合町会と連携して、夜間パトロールを実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。
不法投棄監視パトロール （廃棄物指導課） 293回	（4年1月末実績） 245回 【覚知件数】 不法投棄：153件 野焼き：84件 （3年度末見込み） 293回	定期的な日常パトロールのほか、年末パトロールを実施するとともに、夜間・休日等50日のパトロールを警備会社に委託し、監視体制の充実を図った。
団体等を通じた広報・啓発（クリーン推進課）		
計画	実績	担当員所見
<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン船橋530の日 5月30日 関係団体と協議のうえ、メイン会場でのセレモニーは実施せず、自宅から各小学校へのごみの回収のみ実施。 ・船橋をきれいにする日 11月21日 メイン会場： 天沼弁天池公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン船橋530の日 5月30日実施 関係団体と協議のうえ、メイン会場でのセレモニーは実施せず、自宅から各小学校へのごみの回収のみ実施。 回収量：14,410kg ・船橋をきれいにする日 11月21日実施 メイン会場： 天沼弁天池公園 約410人 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からメイン会場において各団体に出席人数制限を行った。 回収量：13,340kg 	令和2年度は両事業ともに新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から開催できなかったが、今年度は感染対策を呼び掛けたうえで両事業ともに開催できた。 ごみのない住みよい街づくりのために、より多くの市民が清掃活動へ積極的に参加できるよう、感染対策も含め、町会・自治会の協力を得てチラシ等を回覧するとともに、広報ふなばしやホームページにも情報を掲載し、広く周知を図った。 船橋をきれいにする日では、メイン会場の収集コースを1コース増やし、計6コースとした。
ごみ処理施設見学会の実施（資源循環課）		
計画	実績	担当員所見
見学数（団体・人数） 北部清掃工場 70団体 2,000名 南部清掃工場 35団体 1,000名	（4年2月末実績） 北部清掃工場 87団体 2,142名 南部清掃工場 14団体 223名	新型コロナウイルス感染症対策のため、見学受入れ中止や人数制限を行った影響もあり、計画を達成した工場もあったが全体としては、団体数・人数

西浦資源リサイクル施設 15団体 100名	西浦資源リサイクル施設 1団体 2名 (3年度末見込み) 北部清掃工場 87団体 2,142名 南部清掃工場 14団体 223名 西浦資源リサイクル施設 1団体 2名	とも、目標を達成することが出来なかった。 今後は、新型コロナウイルス感染症対策による見学受け入れ中止の場合の代替案として、両清掃工場で作成した通常の工場見学の様子を撮影したDVDの貸し出しについて、小学校と連携を図っていく。また、見学者の人数が少なかった西浦資源リサイクル施設については、ホームページやツイッターを活用して見学者の増加を図っていく。
--------------------------	---	---

2. リデュース・リユース計画

2-1. 市民が優先して取組む2Rの促進

(1) ごみ減量のための食品ロス対策

家庭、事業系それぞれの食品ロスの削減対策を実施します。

資源循環課

市内飲食店と連携した食品ロス削減イベント（取組み）の検討		
計画	実績	担当員所見
食品ロス削減取組みを実施している船橋駅周辺の飲食店10店舗を、ふなR連携事業者として認定する	(4年2月末実績) 0件 (3年度末見込み) 0件	新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店に対しアプローチすることができなかったが、次年度は商工振興課と連携を図り、事業者のニーズを把握しながら、事業者にとってメリットのある啓発を行い登録を増やしたい。
家庭系可燃ごみに含まれる食品ロスの割合の調査実施および公表		
計画	実績	担当員所見
ごみ組成調査を実施 秋期：11月頃 10地区	秋期：10月10地区 冬期：2月10地区	今年度は昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の状況により、秋期のみの実施を計画していたが、調査結果の確度を向上させるため、感染予防策を講じた上で冬期の組成調査も加えて実施した。また、食品ロス削減推進計画が今年度策定されることから、引き続き食品ロスの発生量を調査し、施策の妥当性を検証していく。

食品ロス削減のためのレシピ公開		
計画	実績	担当員所見
消費者庁によるレシピへのリンクをホームページに掲載する。	<p>(4年2月末実績)</p> <p>消費者庁によるレシピへのリンク等を市ホームページへ掲載している。</p> <p>また、こども未来会議室にて提案があった食品ロス削減レシピを新たに掲載した。</p> <p>2月末時点：877レシピ</p>	<p>継続して、レシピの公開を行うほか、今後は、協定などで連携している事業者のレシピの公開も検討したい。</p>

資源循環課

(2) フリーマーケットやリユースショップの情報提供
 フリーマーケットやリユースショップの積極的活用など、市民事業者における自発的なリユースを促進します。

フリーマーケットやリユースショップの情報提供		
計画	実績	担当員所見
ふなR連携事業者であるリユースショップの情報をホームページ等で公開する。	<p>(4年2月末実績)</p> <p>市内リユースショップ7店舗をホームページで公開している。</p> <p>(3年度末見込み)</p> <p>引き続き公開する。</p>	<p>引っ越し等により、不用品等が増える3月に向けて、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」でリユースショップの情報提供をおこなう。</p> <p>またフリーマーケット情報については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため規模を縮小したり、中止しているものもあるため、状況を見ながら情報提供を検討する。</p>

2-2. 事業者が優先して取組む2Rの促進

資源循環課

(1) 減量、資源化取組事業者認定制度の確立
 市内の事業者を対象とした認定制度を設立し、事業者によるごみの減量、資源化を促進します。

減量、資源化取組事業者認定制度の確立		
計画	実績	担当員所見
<p>ふなR連携事業者として新たに認定を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> リデュース・リユース 3件 食品ロスの削減 3件 店頭回収 3件 模範的な3Rの実践 3件 	<p>(4年2月末実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> リデュース・リユース 2件 食品ロスの削減 0件 店頭回収 2件 模範的な3Rの実践 0件 <p>(3年度末見込み)</p> <ul style="list-style-type: none"> リデュース・リユース 2件 食品ロスの削減 0件 店頭回収 2件 模範的な3Rの実践 0件 	<p>リデュース・リユースについては「市指定袋のばら売りによりレジ袋の代わりに市指定袋を利用してレジ袋の削減につなげる」といった新たな取り組みを認定した。</p> <p>今後は認定強化月間などを定め、地区や業種をしぼってアプローチするなど周知方法を検討する。</p>

家庭系廃棄物の分別排出の指導徹底（クリーン推進課）		
計画	実績	担当員所見
ごみの出し方説明会 60回	（4年2月末実績） ごみの出し方説明会 2回 （3年度末見込み） ごみの出し方説明会 2回	町会・自治会やPTAを対象として、容易にできるごみの減量の有効手段である生ごみの水切りや雑がみの分別について広く啓発するために実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、要望のあった2団体のみ開催した。
事業系廃棄物の分別方法の指導強化		
計画	実績	担当員所見
①事業用大規模建築物の調査指導 60事業所 ②小規模事業者の指導 8,000事業所 ③飲食事業者新規講習会での ごみ排出指導 11回 ④飲食事業者実務講習会での ごみ排出指導 11回 ⑤ピット前検査 北部：4回 40台 南部：4回 40台	（4年2月末実績） ①事業用大規模建築物の調査指導 0事業所 ②小規模事業者の指導 ・市内コンビニエンスストアへの分別指導 246事業所 ・下総中山駅周辺事業所への排出状況調査 9事業所 ③飲食事業者新規講習会でのごみ排出指導 0回 ④飲食事業者実務講習会でのごみ排出指導 0回 ⑤ピット前検査 北部：3回 39台 南部：3回 41台 （3年度末見込み） ①事業用大規模建築物の調査指導 0事業所 ②小規模事業者の指導 ・勧奨文書等の送付 8,000事業所 ・下総中山駅周辺事業所への訪問調査及び指導	①事業用大規模建築物の調査指導 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度も実施を中止した。事業系一般廃棄物減量等計画書未提出の専用大規模建築物所有者等に対して、再度提出を促す文書を発送する。（3月下旬） ②小規模事業者の指導 年度内に適正排出を確認できない事業所8,000事業所に対して勧奨文書とパンフレットを送付する。また、適正排出を確認できない事業所に対し、地域を限定するなどして訪問による現地調査・指導を実施する。（3月上旬：下総中山駅周辺） 分別に関する啓発チラシを市内のコンビニエンスストア各店舗に配布した。 ③飲食事業者新規講習会でのごみ排出指導 ④飲食事業者実務講習会でのごみ排出指導 保健所が開催する新規及び更新の食品衛生講習会で、ごみの適正排出について指導していたが、令和2年度に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から講習会に出席できなかったため、受講者に対し

	<p>9事業所</p> <p>③ 飲食事業者新規講習会でのごみ排出指導 0回</p> <p>④ 飲食事業者実務講習会でのごみ排出指導 0回</p> <p>⑤ピット前検査 北部：3回 39台 南部：3回 41台</p>	<p>てチラシ配布のみを行った。(③及び④所見)</p> <p>⑤ピット前検査 新型コロナウイルス感染症等への感染リスクを考慮し、バックドア検査を中心に検査を行い、両清掃工場で計画の80台を実施した。</p>
--	--	--

マイバック運動および詰替え商品の推奨（資源循環課）

計画	実績	担当員所見
<p>環境フェアでのマイバック作りを実施する。</p> <p>リサちゃんだより+での啓発を実施する</p>	<p>(3年度末見込み)</p> <p>環境フェアでマイバック作りを31名が体験。</p> <p>リサちゃんだより+1月号にて、詰替え商品の推奨記事を掲載。</p>	<p>環境フェアでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、人数制限があり例年よりは体験人数が減少したが、概ね好評であった。</p> <p>リサちゃんだより+1月号で、使い捨てプラスチックを減らそうという記事にて、詰替え商品の推進を掲載した。今後はさらなるごみの減量のため詰替え商品の推奨のみでなく、ワンウェイプラスチックの削減も推奨していきたい。</p>

3. 資源化計画

3-1. 分別収集の徹底

(1) 小型家電回収の促進

小型家電の回収量を拡大します。

資源循環課

小型家電回収の促進		
計画	実績	担当員所見
<p>総回収量 110 t を目指す。</p>	<p>(3年12月末実績) 71.00 t</p> <p>(3年度末見込み) 94.68 t</p> <p>内訳(回収ボックス+ピックアップ回収+宅配便による回収)</p>	<p>昨年度と比較し、回収量は減少傾向であるが、昨年度の回収量が多かった要因は、新型コロナウイルス感染症の影響で在宅し、家の片付けをしたことなどと考えられる。</p> <p>おととしとの比較では、回収量は増加しているため、小型家電回収ボックス自体の認知度は向上していると考えられるため、今後も排出方法の周知に努めたい。</p>

(2) 店頭回収の促進

資源循環課

資源物の店頭回収を促進し、資源化を促進します。

店頭回収実施店舗の紹介		
計画	実績	担当員所見
ふな R 連携事業者認定制度による食品トレイなどの店頭回収実施店舗の認定 3 件	(4 年 2 月末実績) 24 件 (うち新規 2 件) (3 年度末見込み) 24 件 (うち新規 2 件)	ふな R 連携事業者を効果的に周知することにより、店頭回収実施店舗の積極的な利用を推進したい。 また、令和 4 年 2 月 8 日に (株) セブン-イレブン・ジャパンと「ペットボトルリサイクル事業」に係る協定を締結し市内 30 店舗でペットボトルの店頭回収を開始した。
有価物回収ボックスの設置の検討		
計画	実績	担当員所見
回収ボックス設置に代わる施策を検討する。	HP で事例を調査した。	家庭から出る古紙の回収については、有価物回収のみでなく、スーパー等の店頭回収など排出先の選択肢が増えている。スーパー等では重量によってポイントが付与されるなど排出の動機付けにもつながっているため、今後も市民の利用が増加すると考えられることから、市で回収ボックスを設置することよりも店頭回収を行う事業者を優良事業者として認定し周知するなど、有価物の可燃ごみへの混入を減らしていきたい。

(3) 事業系古紙の分別の促進

資源循環課

オフィスなどから多く発生する事業系古紙の資源化を促進します。

事業系古紙の資源化の促進		
計画	実績	担当員所見
不動産業等のオフィス古紙が排出される事業者を中心に古紙の分別及び資源化の促進を働きかける。	(4 年 2 月末実績) 紙類の分別と資源化の状況について、14 事業者に対して、ヒアリングを実施した。 (3 年度末見込み) 10 事業者に対してヒアリングを実施する予定。	ヒアリングの結果、雑がみの分別などについての情報提供が十分ではないことがわかったため啓発を強化する必要がある。 一方で事業系古紙のリサイクルを積極的に行っている事業者もいたため、優れた取り組みを行っている事業者の事例を共有するなど、効果的な周知方法も含めて検討していく。

3-2. 資源化物の回収促進

資源循環課

(1) 家庭系剪定枝の資源化の推進

焼却灰の資源化に依存しないリサイクル率の向上のため、家庭系樹木の資源化を促進します。

家庭系剪定枝の資源化の促進		
計画	実績	担当員所見
他市事例の調査、研究を行う。	新たな調査、検討はなし	家庭系剪定枝の分別は本市にとって、処理施設の課題等があり、次期基本計画の改定に併せて継続して検討を行う。

クリーン推進課

資源循環課

(2) 有価物回収の促進

自治会等の団体の協力による有価物の適切な分別と回収を推進し、さらにごみの減量、資源化を図ります。

有価物回収の促進			
計画	実績	担当員所見	
回収量 18,700 t うち、雑がみ 1,000 t	(4年2月末実績) 回収量 15,997t うち、雑がみ 920t (3年度末見込み) 回収量 17,450t うち、雑がみ 1,000 t	計画量は達成できなかったが、令和元年度の回収量 17,431t は上回る見込みとなっている。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ごみの出し方説明会・地区別推進員研修会・ごみ減量啓発バスなど啓発の機会を設けることができなかったことも影響があったと考える。 令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら、様々な機会を通じて、また、適切な分別について、周知啓発を図り、有価物回収の増加を目指す。	
品目別回収量の推移 (単位：t)			
	令和2年度	令和3年度	増減
新聞	3,117	2,986	-131
雑誌	4,243	3,697	-546
雑がみ	849	920	71
段ボール	6,379	6,453	74
古着	2,007	1,879	-128
紙パック	53	62	9
合計	16,648	15,997	-651
※各年2月末現在			

食品リサイクル法の普及啓発		
計画	実績	担当員所見
食品残渣を排出する事業者へ食品リサイクル法の啓発を行う。	<p>(4年2月末実績)</p> <p>市内14事業者に対して、ヒアリングを実施した。</p> <p>(3年度末見込み)</p> <p>上記に加え10事業者に対してヒアリングを実施する予定。</p>	ヒアリングの結果、食品製造業(5社)などにおいては、ほとんどの事業者において既に食品残渣のリサイクルを行っていた。今後もリサイクルにつながるよう事業周知を行いたい。
プラスチック製容器包装の分別の検討		
計画	実績	担当員所見
プラスチック製容器包装を分別した場合の、ごみ減量効果及び温室効果ガス削減量を効果として、費用対効果を算出する。	<p>算出結果</p> <p>プラスチックを材料リサイクルやケミカルリサイクルとして再商品化する場合、中間処理施設の設置が必要になり、この他にも収集運搬費用など多大な費用がかかる。一方で、温室効果ガスの削減効果については、収集運搬時や材料リサイクルなどの再商品化時に排出される温室効果ガスを考慮すると、本市の清掃工場が全国的に見て高い効率で廃棄物発電ができる設備を有していることから、焼却処理し発電を行う場合とでは、大きな差がなかった。</p>	費用対効果の算出結果より、プラスチックごみは清掃工場での焼却処理を継続することとなった。今後も引き続き、国、県、近隣市などの動向を注視しながら引き続き検討していく。

4. 収集・運搬計画

4-1. 高齢化社会を踏まえた市民サービスの向上

資源循環課

(1) 高齢者・障害者へのふれあい収集事業の実施

高齢者・障害者へのふれあい収集事業の実施		
計画	実績	担当員所見
対象世帯数：300 世帯	(4 年 2 月末実績) 利用世帯数：306 世帯 ※ 2 年度実績：253 世帯	計画利用世帯数を達成した。昨年度よりも利用世帯数の増加率が高く、関係機関への周知に一定の効果があつたことが読み取れる。関係機関への周知を引き続き行うことで、支援を必要とする対象者に本事業を浸透させていきたい。

4-2. 安定的かつ経済的な収集・運搬体制の構築

資源循環課

(1) 家庭系可燃ごみの収集回数の見直し

家庭系可燃ごみの収集回数の見直し		
計画	実績	担当員所見
収集回数見直し後の家庭系可燃ごみの減量効果を、市ホームページ等で 5 月及び 11 月に公開する。	(4 年 2 月末実績) 家庭系ごみの収集回数見直し後のごみ量の変化について上期分をホームページで公開した。 (3 年度末見込) 家庭系ごみの収集回数見直し後のごみ量の変化について令和 3 年度分をホームページで公開する。(5 月頃予定)	令和 4 年 2 月時点で家庭系可燃ごみの収集回数見直しから 41 か月が経過し、収集回数見直し前の平成 29 年 10 月からの 41 か月間と比較し、家庭系可燃ごみは約 2,350 t 減少している。昨年度までの 30 か月間では約 872 t 増加と、新型コロナウイルス感染症の影響があつたが、例年通りの減少傾向に回復しつつある。

(2) 家庭系可燃ごみ収集運搬委託の見直し

災害時を含めたごみ処理対応をふまえ、家庭系可燃ごみ収集の民間委託の推進を検討します。

家庭系可燃ごみ収集運搬委託の見直し		
計画	実績	担当員所見
委託化の方針を決定する。	「家庭系可燃ごみ収集運搬のあり方検討会」における検討結果を踏まえ、方針について関係部署と協議を行った。	行財政改革プランでは、継続事項となった。今後は、市全体の職員体制を考慮しながら、災害時のごみ処理体制も踏まえ、関係部署と協議を継続していく。

(3) 家庭系ごみ有料化の検討

ごみの減量状況等により、実施を検討します。

家庭系ごみ有料化の検討		
計画	実績	担当員所見
ごみの減量状況を踏まえ、他市状況の調査研究を進める。	一般廃棄物処理基本計画改定に合わせ実施した市民アンケート結果及びシミュレーションを基に検討を実施し、有料化による市民負担を軽減するため、戸別収集実施と同時に検討し、戸別収集は経費及び温室効果ガスの増加から、現状では実施を見送った。	今年度改定の一般廃棄物処理基本計画で実施は見送ったが、今後の廃棄物行政及び近隣市動向を注視し、引き続き検討していく。

4-3. 事業系ごみの適正排出体制の確立

(1) 事業系ごみ収集運搬業者の育成

事業系ごみの適正処理や資源化を推進するため、事業系ごみ収集運搬業者の育成を図ります。

事業系ごみ収集運搬業者の育成		
計画	実績	担当員所見
事業系ごみの適正処理や資源化を推進するため、事業系ごみ収集運搬業者の育成を図る。	関連講習の案内、安全運転の徹底及び資源物の分別収集に関する周知啓発を行った。また、新型コロナウイルス感染症に係る廃棄物対策について周知を図った。	事業系ごみ収集運搬業許可業者に対して、実績に記載したような各種啓発及び個別事案への相談対応を行うことで、事業系ごみの適正処理や資源化への取組みを推進した。

ごみ収集ステーション看板の見直し・ごみ収集ステーション管理責任の周知		
計画	実績	担当員所見
<p>・ステーションにおける情報提供</p> <p>・持ち去り防止パトロール</p>	<p>(4年2月末実績)</p> <p>持ち去り防止パトロール 1回(地域からの相談)</p> <p>(3年度末見込み)</p> <p>持ち去り防止パトロール 2回(地域からの相談)</p>	<p>・ステーションにおける情報提供</p> <p>外国人住民でごみ出しのルールを守らないケースには、外国語版家庭ごみの出し方簡易パンフレット(英語・中国語・韓国語・スペイン語・ベトナム語・ネパール語)や外国語表記の張り紙(収集日の順守や指定袋の使用などを注意喚起するもの)などで啓発指導をした。</p> <p>今後も使用者・管理者がごみ収集ステーションの維持管理責任を負うことを市ホームページや印刷物などを活用して啓発したい。</p> <p>・持ち去り防止パトロール</p> <p>地区担当者(環境指導員)が各地区を巡回する際、有価物や不燃ごみの持ち去りがいないか、ごみ収集ステーションの状況も確認している。</p> <p>また、地域から相談があった際には、パトロールなどを実施し、持ち去り防止に努めた。</p>
収集サービスの向上		
計画	実績	担当員所見
<p>① クリーンサポート事業 2,500件</p> <p>② 粗大ごみ戸別収集 140,000件 280,000点</p>	<p>① クリーンサポート事業 (4年2月末実績) 2,415件 (3年度末見込み) 2,635件</p> <p>②粗大ごみ戸別収集 (4年2月末実績) 128,603件 265,680点 (3年度末見込み) 約140,000件 約290,000点</p>	<p>①クリーンサポート収集</p> <p>実施件数は増加傾向にあり、高齢者や障害者を対象としている事業であるため、今後も増加が見込まれる。</p> <p>②粗大ごみ戸別収集</p> <p>件数、点数ともに減っており、前年度より約1万件、2万点の減が見込まれる。前年度は、新型コロナウイルスの影響で在宅時間が増えたため、件数、点数が増えたが、今年度は在宅時間が減ったため、件数、点数に影響があったものとする。</p>

5. 処理・処分計画

5-1. 施設の適切な運営、維持管理

資源循環課

(1) 新施設の適正な運営と維持管理の継続

北部清掃工場、南部清掃工場、西浦資源リサイクル施設の適正な運営と維持管理を継続して行います。

新施設の適正な運営と維持管理の継続		
計画	実績	担当員所見
(売電電力量)	(4年2月末実績)	両清掃工場を合計するとおおむね計画通りの実績となる見込みとなっている。可燃ごみの安定的な処理と合わせて効率的に発電していく。
北 部：44,859,200 kWh	北 部：39,564,768 kWh	
南 部：46,400,000 kWh	南 部：43,645,680 kWh	
	(3年度末見込み)	
	北 部：43,000,000 kWh	
	南 部：48,000,000 kWh	

5-2. 焼却残渣の最終処分量の削減

資源循環課

(1) 焼却灰の安定した最終処分、資源化先の確保

北部清掃工場、南部清掃工場から発生する、焼却残渣の安定した最終処分、資源化先を継続的に確保します。

焼却灰の安定した最終処分、資源化先の確保		
計画	実績	担当員所見
最終処分量(予算値) 7,800 t	(4年2月末実績) 6,726.76 t	最終埋立処分量は前年度比約 2.9 t (0.04%) 増加の見込みである。相手方自治体との協議を行い、今後も継続して安定的に最終処分や資源化を行う。
	(3年度末見込み) 7,487.76 t	
	※2年度実績 7,484.82 t	

資源循環課

(2) 焼却残渣等の資源化拡大

北部清掃工場、南部清掃工場から発生する焼却残渣の安定した資源化を拡大します。

焼却残渣等の資源化拡大		
計画	実績	担当員所見
焼却灰の資源化量(予算値) 11,350 t	(4年2月末実績) 10,139.78 t	資源化量は前年度比約 23 t (0.21%) 減少の見込みである。相手方自治体との協議を行い、今後も継続して安定的に資源化を拡大していく。
焼却灰の資源化率(予算) 59.27%	60.12%	
	(3年度末見込み) 11,034.28 t 59.57%	
	※2年度実績 11,057.27 t	

有害物質の発生抑制		
計画	実績	担当員所見
排ガス分析・放射能測定・焼却灰試験等を行う。	<p>(4年2月末実績)</p> <p>(北部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重金属測定 <ul style="list-style-type: none"> 排ガス 2回 焼却灰 11回 飛灰 11回 ・放射能測定 <ul style="list-style-type: none"> 排ガス 3回 焼却灰 11回 飛灰 11回 <p>(南部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重金属測定 <ul style="list-style-type: none"> 排ガス 2回 焼却灰 11回 飛灰 11回 ・放射能測定 <ul style="list-style-type: none"> 排ガス 1回 焼却灰 11回 飛灰 11回 <p>(3年度末見込み)</p> <p>(北部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重金属測定 <ul style="list-style-type: none"> 排ガス 2回 焼却灰 12回 飛灰 12回 ・放射能測定 <ul style="list-style-type: none"> 排ガス 4回 焼却灰 12回 飛灰 12回 <p>(南部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重金属測定 <ul style="list-style-type: none"> 排ガス 2回 焼却灰 12回 飛灰 12回 ・放射能測定 <ul style="list-style-type: none"> 排ガス 1回 焼却灰 12回 飛灰 12回 	<p>計画通りの測定を実施できており、数値も安定している。今後も継続して測定し、有害物質の監視を行う。</p> <p>全ての項目を計画どおり実施し、排出基準を満たしていることを確認する。</p>